



せせらぎ通信

川が凍結していても、氷に乗ったりしないでね！

平成24年2月20日
【第22号】



発行
国土交通省東北地方整備局
秋田河川国道事務所
子吉川出張所

～ 子吉川にハクチョウが飛来しています ～

ハクチョウはシベリアなどで繁殖し、冬期は温暖な日本などに渡って越冬する大型の渡り鳥です。シベリアでは日中でも気温が氷点下になるため、氷に閉ざされて餌が食べられなくなるため渡ってきます。

今年の子吉川に飛来しているハクチョウの数は例年に比べて多く、2月2日に実施した河川パトロールでは、アクアパルの上流で90羽ほどが確認できました。この冬の使者ハクチョウが帰る頃には、子吉川にもようやく春が訪れます。



お願い

ハクチョウを観察するときは、川岸がすべりやすいので、気をつけましょう。
また、エサをやらないようにしましょう。

ただいま、こんな工事をおこなっています — 施設の補修工事の紹介 —

樋門・樋管は、堤防に設置された洪水の逆流被害を防止するための重要な河川管理施設です。子吉川の国管理区間には46施設がありますが、古い施設が数多くあるため調査をしたところ、コンクリートの老朽化による不具合箇所が目立ってきています。そこで、川の水量が少なくなる冬に補修工事を行っています。今年も、明法樋管や古川樋管など3箇所です水路内部のひび割れや老朽箇所を修繕する工事を実施しています。

なお、期間中は堤防道路の通行規制など、ご不便をおかけすることもあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



子吉川で結氷を観測 — 氷にはのらないでください —



1月31日
本荘大橋から上流を撮影



1月31日
由利本荘市宮内付近で撮影

1月からの低温と降雪により、子吉川では河口から旧由利町付近までの広い範囲で、川の表面が凍る「結氷」が確認されています。

氷の下は水が流れていますので、絶対に氷にのったりしないでください。また、船舶の航行も十分に注意してください。

水質事故を起こさないために！ — 日常からこまめな点検を —

冬季は、一般家庭や事業所の油類タンクから灯油などが漏れ、河川に流れ出す事故が増えます。その多くは人的ミスによるものです。日常から次について心掛けましょう。

- ・ ホームタンクから灯油を分けるときは、その場を離れない
- ・ 屋根からの落雪や除雪時の給油管破損に注意し、配管位置に目印を立て管理する
- ・ 配管やホームタンクの定期点検に努める
- ・ 水質事故を起こした、または発見した時は、ただちに通報を！

◎ご意見・問い合わせ先
国土交通省子吉川出張所
『せせらぎ通信』担当
由利本荘市石脇字田尻29
電話 0184-22-6360
<http://www.thr.mlit.go.jp/akita/>